



# 大田区自立支援協議会だより 第26号

【編集・発行】大田区自立支援協議会

【事務局】大田区立障がい者総合サポートセンター

【電話】03-5728-9134 【FAX】03-5728-9136

令和7年1月発行

「大田区自立支援協議会」は、障がい児・者の地域での自立した生活を支援するため、障がいのある方や障がい福祉に係わる様々な分野の関係者が参加して、定期的な協議を行い地域での課題について情報を共有し、連携を取りながら具体的な検討を行うことを目的として区が設置しています。

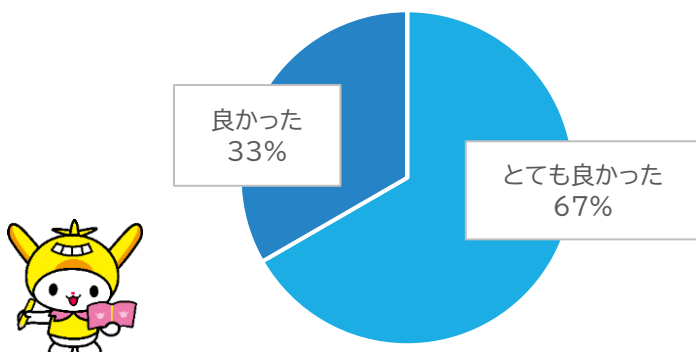
## 大田区福祉人材育成・交流センターとの連携企画を開催しました！

11月21日に、「意思決定支援」をテーマに大田区福祉人材育成・交流センターとの連携企画を開催しました！「連携企画」は初の試みでしたが、協議会委員と区内福祉従事者、総勢117名にご参加いただきました。当日は、冒頭に自立支援協議会、各専門部会の紹介・説明をしたあと、名川会長より「意思決定支援」についてご講演いただきました。その後、部会だけでなく職種や支援者・当事者の垣根を超えて、グループディスカッションを行いました。

### 【アンケート結果(概略)】

<参加者数:25(全体50)、アンケート回答数:12(全体25)>

参加してみて



アンケートにご回答いただいたすべての方から、連携企画について「とても良かった」「良かった」、そしてこのような企画があればまた参加したい、とのご回答をいただきました。研修としての満足度が高い一方で、協議会の連携企画としては、少々物足りなさを感じたとのご意見もいただきました。運営会議等を通して、より充実した企画ができるよう、引き続き努めてまいります。

### 大田区福祉人材育成・交流センターより


この度は、連携企画にて研修を実施させていただき、ありがとうございました。

大田区福祉人材育成・交流センターは、区内福祉従事者の皆様が、所属や分野など様々な垣根を超えて学び合う研修会等を実施することで、大田区内の福祉サービス全体の質の向上を目指しています。

今回の研修会にご参加いただいた福祉従事者の皆様からは「意思決定支援について、今まで意識することが少なかったが、研修に参加して、対人援助の場面で心に留めようと思った」や「普段交流の少ない職種の方との交流もでき、障がいのあるご本人からも実体験に基づく率直な意見が聞けてとても良かった」、「また名川先生の講義を受講する研修会を開催してほしいです」といったお声をいただきました。

区では令和6年3月に、大田区成年後見制度等利用促進基本計画(第二期)を策定し、区民の皆様の権利擁護支援の促進に取り組んでいます。意思決定支援、権利擁護支援に関しては、福祉従事者として継続的に学び続けていかなければならない、とても大切な内容です。今後も、自立支援協議会の皆様をはじめ、障がい者総合サポートセンターなど関係機関と連携して、研修会などを企画・実施していきたいと考えております。






## 相談支援部会 赤羽 知映委員（社会福法人大田幸陽会さんさん幸陽）

11/21 大田区福祉人材育成・交流センター連携企画研修「意思決定支援について考える」を受講させていただきました。当日は高齢者福祉、障がい者福祉の様々な職種の方が大勢受講され、テーマへの関心の高さがうかがえました。講師は大田区自立支援協議会の会長である名川先生であり、冒頭で自立支援協議会の紹介時間もあり、会を知っていただくよい機会になりました。

名川先生の講義では、意思決定のプロセスを大切にすること、また利用者の意思により、意思決定は変化していてもいい、ということを変更して学びました。もっと柔軟に利用者の意思決定と向き合い、その過程を丁寧に支援していくことが大切であると感じました。グループワークでは、それぞれの職種の視点で様々な意見を交わし、気づきの場となりました。全体発表の際には名川先生が皆さんの意見をうまく引き出してくださり、実り多き学びの場となりました。




## 地域生活部会 広瀬 健次郎委員（大田区立障がい者総合サポートセンター）

地域生活部会では、「10年後も住み続けたい大田区へ～世代を超えて知る機会を～」をテーマに話し合っています。生活をする上で必要な情報（福祉サービスから地域密着なお得情報等）をどのように得ているのか？知る機会を、どのような媒体（アナログ、デジタル、口コミ等）をどのように得ているのか？を話し合っています。

セミナーに参加して、「意思決定」をするために必要な情報提供について考える機会となりました。意思決定と言っても、今日食べたい物から将来の方向性まで幅広くなります。情報を自身で調べることが難しい方もいます。生活する環境によって、触れることのできる情報に違いがあることが、課題でもあります。

福祉関係者に関わらず広く地域住民に発信していけることが、暮らしの中で困り感を抱えている方の、知る権利の保障につながるのではないかと思います。




## 防災・あんしん部会 山内 京子委員（大田区視覚障害者福祉協会）

11月21日(木)に開催された意思決定支援についての研修に参加しました。参加者は120人にのぼり、名川先生の講演のあと、グループで話し合いました。ひとりで外出したいと言う高次機能障害を持つ男性に対して、奥さんは心配だからひとりで外出しないでほしいという事例について、先生や会場も交えて話し合いました。

意思決定支援といいながらも、どうしても周囲の「家族」や「支援者」が選びやすい方にむかひがちだと感じました。本当は当事者の思いがどこにあるのかを、もっとじっくり理解しようとするのが意思決定支援なのではないかと思います。

私は参加者の中では数少ない障がい当事者として、心細く感じながら意見を述べました。今回は支援に携わる方がほとんどだったようですが、本来は障がい当事者もたくさん参加し、お互いの視点から活発に話すことができると、より充実した意見交換になったのではないかと思います。



## 大田区自立支援協議会 第3回本会開催のお知らせ

▶日時：令和7年3月3日（月） 14時～16時

▶会場：大田区立障がい者総合サポートセンターA棟 5階多目的室

どなたでも傍聴できます。（※当日、会場にて受付・先着10名様まで）  
特別な配慮を希望される方は、事前に事務局までご相談ください。

